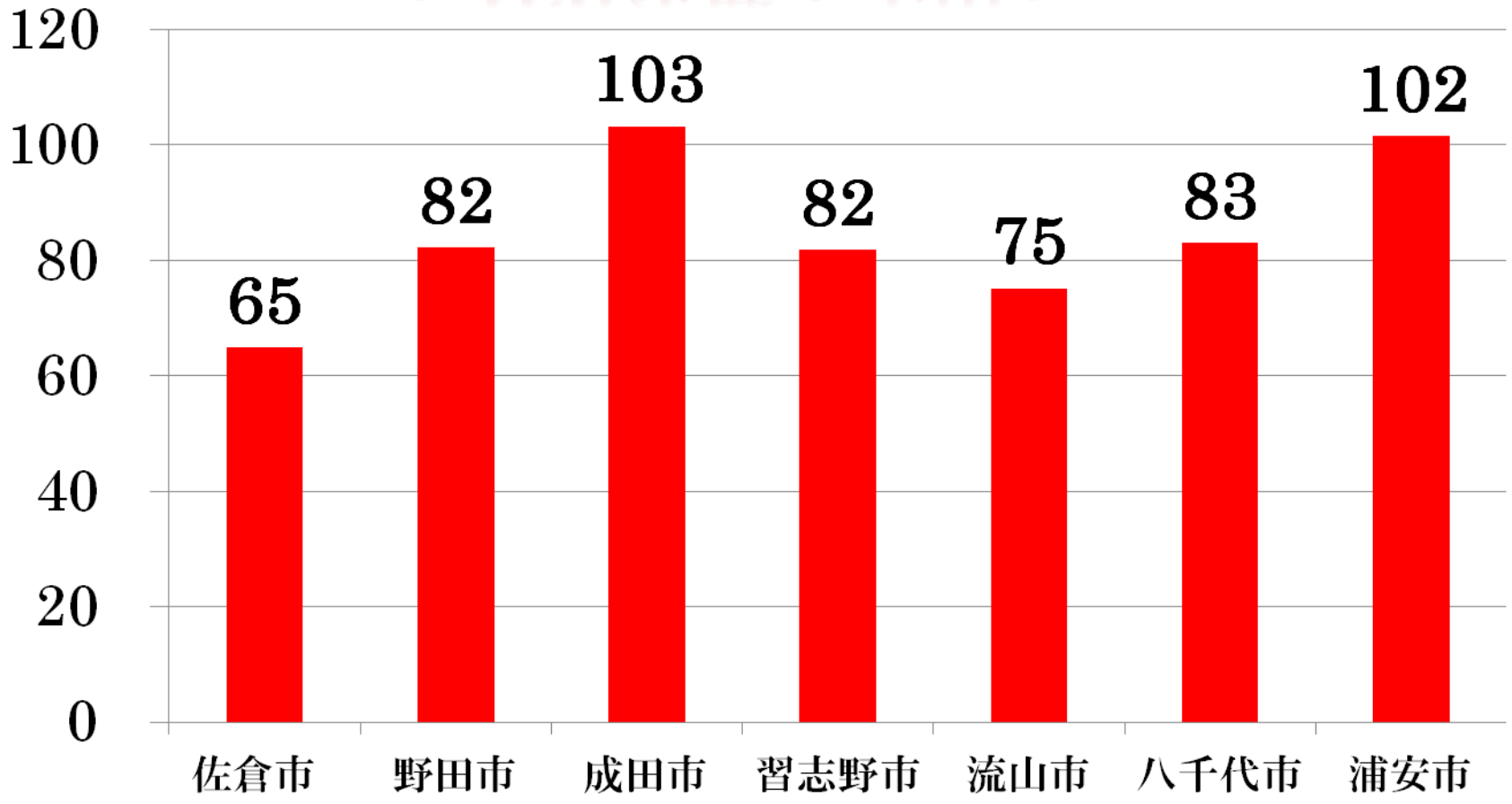
住民一人当たり民生費
～H21年度・千円～



歳出の比較

①市民1人当たり歳出額

最高：成田市45万円／最低：佐倉市23万円

②市民1人当たり歳出額

最高：成田市10万円／最低：佐倉市7万円

③市民税の還元率

市民が納めた市民税が民生費を通じてどれほど市民に還元されているか？

最高：成田市1.67／最低：佐倉市0.93

歳入・歳出の比較から見えてくること

浦安市：高負担高福祉

　市民税は高いが、税金の還元率も高い。

成田市：低負担高福祉

　市民税は低く、税金の還元率が高い。

佐倉市：中負担低福祉

　市民税は中位だが、税金の還元率が低い。

佐倉市の貯金と借金

①市民1人当たりの貯金（積立金）

佐倉市：5.8万円（中位）

最高は断トツで浦安市14.1万円

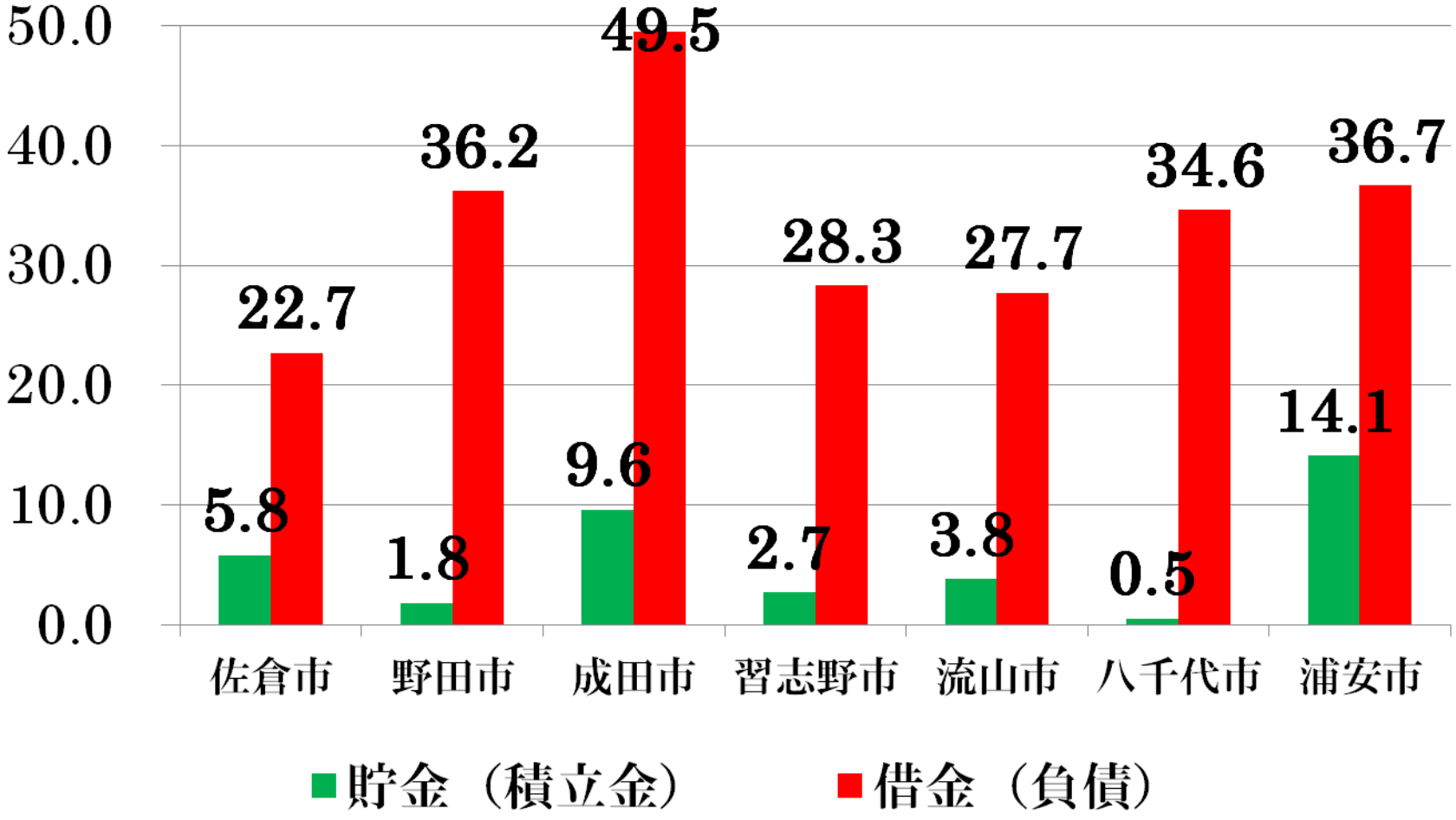
②市民1人当たりの借金（地方債残高＋債務負担行為）

最小：佐倉市22.7万円

最高：成田市49.5万円

＊佐倉市は堅実な財政運営；貯金の有効活用が課題

市民1人当たりの貯金と借金(万円)



市の役職員の給与水準

①6市との比較では中位

②職員1人当たりの市民数

　最高：佐倉市199人／最低：成田市：113人

＊少ない職員で行政サービスを担っている。

→ 効率的行政サービス？

→ 過密労働？

→ 行政サービスの質への影響は？

→ 職員のモチベーションへの影響は？

財政状況の総合的診断

①財政力指数

＊１を超えると国から交付される地方交付税がゼロになる。

＊佐倉市1.00（中位）

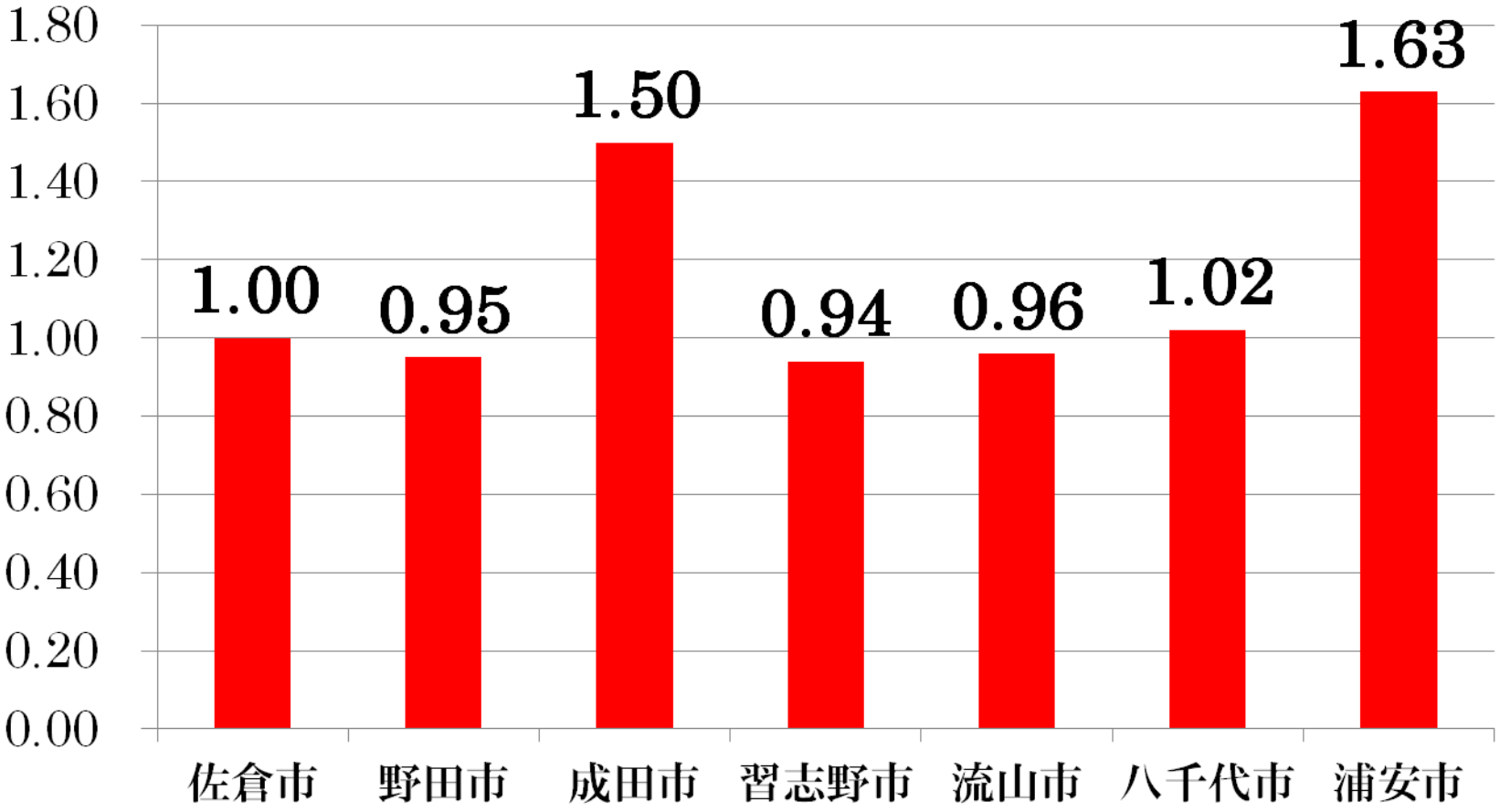
＊最高：浦安市1.63／最低：習志野市：0.94

②経常収支比率

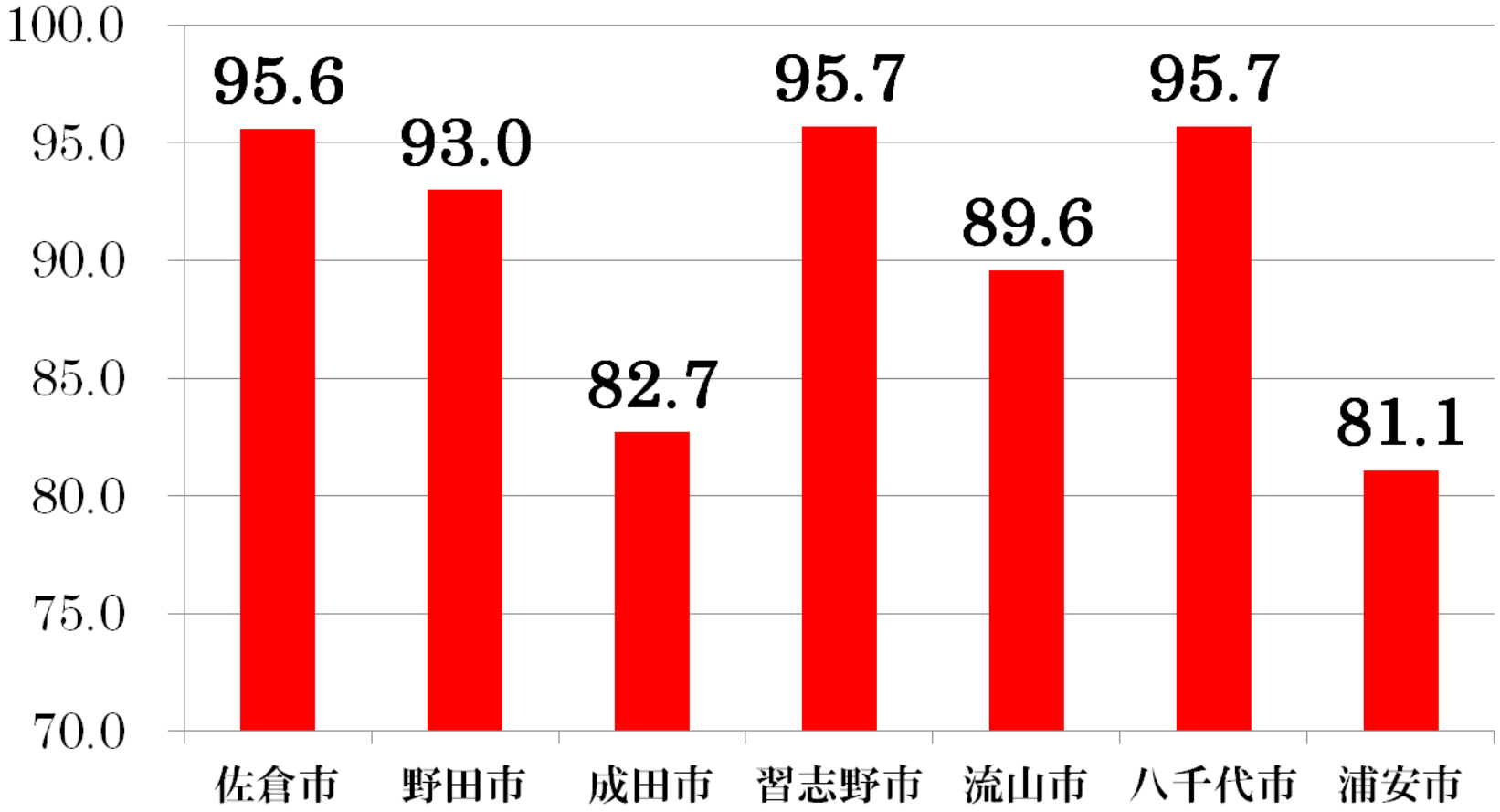
＊収支の弾力性、新規事業を興す余力を表す指標

＊佐倉市：95.6％／最低：浦安市：81.1％

財政力指数
～大きいほど財政力あり～



経常収支比率
～小さいほど資金繰りが安定～



まとめと提言（1）

①7市の中では健全な財政状況にあるが、
「健全」の中味を問う必要がある。

②市民税の市民への還元率を高める施策が必要ではないか？　住みよい町づくり

＊交通面での利便性（慢性的渋滞の解消、高齢者も移動しやすい循環バスなど）

＊子育てしやすい環境、財政支援

＊市民と協働の安全・安心の町づくり

まとめと提言（2）

③地方分権を実行する行政

＊国、県の指針待ち、他の市町村の様子見でない主体性のある行政

＊国・県・他の市町村に発信できるユニークな行政の実行

＊東日本大震災・福島原発事故への対応はこうした佐倉市の積極的行政が試されている。

まとめと提言（3）

④住みよい街づくりと財政力向上の好循環を

→人口増加→地価上昇

→市民税・固定資産税の増加

→財政力の向上

→住民福祉のための自主財源の拡充

⑤地方分権を支える市民の自覚、市民参加に途を開く市民協働の浸透・定着